

平成22年8月19日

奈良の夢を応援する「LOVE!NARA」
発起人代表 5*SEASON（本名：大八木恵子） 様

奈良県土木部道路・交通環境課

要望書に関する回答について

平成22年7月23日にいただきました要望書につきまして、下記のように回答させていただきますので、よろしくお願ひします。

記

(1) 1~5、9~12についてお答えします。

奈良県では、奈良観光の玄関口である近鉄奈良駅周辺において、県民や観光客等の方々の利便性の高い環境づくりを進めたいと考えており、待合い空間としての機能向上を図る取組の一環として、昨年度に、行基広場における交通環境の検討を実施しています。

この、検討にあたっては、以下の考え方により行ったところです。
なお、屋根設置については公式な要望書といったものはございません。

○屋根設置の目的

近鉄奈良駅前行基広場は、奈良観光の玄関口でありながら、待合いや交流のための場所としては、特に降雨時には利用がしにくく、待合いだけでなく、駅から商店街までの移動等においても雨に濡れる状況です。また、晴天時には強い日射の影響を受けたり、団体の待ち合わせは地下になるなど、利用者環境に乏しい状況にあります。

このため、行基広場に屋根を設置することにより、悪天候時の雨露を遮り、晴天時の日射等の影響を和らげることにより、快適な交流空間を創出し、奈良観光の玄関口にふさわしい待合い空間としての機能向上を図りたいと考えています。

○屋根の高さおよび形状について

- ・圧迫感を与えないような開放感の感じやすさ等を考慮して、一定程度の高さを確保するため屋根の高さを7.5m~10.25mとしています。
- ・開放感の感じやすさや道路側からの雨の影響を極力うけないようにするために、アーチ屋根の傾斜設置型としています。
- ・商店街屋根部を考慮して、屋根の高さや形状を選定しています。

○屋根材について

- ・透明感の確保や周辺街区との調和等を考慮して、強化ガラスとしています。
- ・ガラスの種類については、日射や紫外線の透過率を考慮して選定します。
- ・ガラスの表面処理については、光触媒コートの活用により自浄性をもたせるなど、将来の維持管理費の軽減や美観維持に配慮して選定します。

(2) 6~8、15~17についてお答えします。

仕様書については、土木部まちづくり推進局営繕課において作成しています。仕様書に記載されている予定工事費はイメージ図をもとに概算として算出したものです。

また、本計画については、実現可能な設計について検討を深めつつ、地元の方々等への説明等を行う予定としていたため、入札公告以前に公表はしていません。

(3) 13~14についてお答えします。

行基広場の屋根設置の検討を進めることについて、奈良市と近畿日本鉄道（株）とは、今年の1月より相談を進めているところです。

(4) 18~19についてお答えします。

入札公告と並行して、地下埋設物事業者と調整を進めていたところ、複数の埋設管（ガス、電気、水道）が輻輳していることが明らかになったことから、設計条件を整理することが必要であると判断し、入札公告の中止を行いました。

(5) 20~21についてお答えします。

現在、屋根設置の要否も含め、ホームページ等によるパブリックコメント等を実施しており、これを踏まえて、今後の方針を決定したいと考えています。